

過去10年最速

「注意報」水準

インフルエンザ

厚生労働省は20日、全国約5千の定点医療機関に9月15日に報告されたインフルエンザの感染者数は5万4709人で、1医療機関当たり11・07人だったと発

表した。前週比1・11倍で、自治体の「注意報」の基準となっている10人を超え

た。過去10年で最も早い。

国立感染症研究所によると、全国の推計感染者数は約38万人に上る。

前週と比べ増加したのは37道府県。多かったのは沖縄25・37人、千葉20・86人、埼玉19・69人で、1機関当たり10人を超えたのは17都

県。少なかったのは青森1・60人、秋田1・81人、福井2・10人。本県は7・20人だった。

休校や学級閉鎖などになったのは全国で計1772施設だった。

小児科医の釜范敏^{かまのり}日本医師会常任理事はこの時期の感染拡大は異例とし「多くの人がある程度の免疫を持っている病気。手洗いや混雑時のマスク着用など基本的な感染対策を徹底し、希望する人はワクチンを打てば大丈夫だ」と話している。